

解体業事業計画書及び収支見積書

年 月 日現在作成

1-1. 事業の全体計画 (業務を行う時間、従業員数、休日数、扱う車種 (乗用車、大型車を含む。))

(フロー概略図を添付)					
業務時間	~	従業員数	人	休業日	

1-2. 使用済自動車の引取実績及び計画

年 度	__年度実績 (3年前)	__年度実績 (2年前)	__年度実績 (1年前)	許可取得後の 年間計画
引取台数	台	台	台	台
主な引取先				

1-3. 解体実績

年 度	__年度実績 (3年前)	__年度実績 (2年前)	__年度実績 (1年前)
年間処理台数	台	台	台
年間稼働日数	日	日	日
平均処理実績	台/日	台/日	台/日

1-4. 解体能力

1日あたり処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
台/日	日	台

1-5. 保管の状況

使用済自動車		解体自動車	
保管量の上限	台 (台)	保管量の上限	台 (台)
現在保管数	台 (台)	現在保管数	台 (台)

※ 事業所以外の場所で保管している場合には、その台数を内数で () に記入してください。

1-6. 年間収支見積書

年 月 日現在作成

項 目		前年度 (年) (決算月 (月))		今年度の見込み (年間)	
		年度 (千円)	1台あたり (円)	年度 (千円)	1台あたり (円)
売上高 (全体)	ア (総売上収入)				
売上原価	イ (使用済自動車等購入費)				
その他経費	ウ				
うち廃棄物処理委託費	エ				
営業利益	オ = ア - イ - ウ				
営業外利益	カ (主に支払利息)				
経常利益	キ = オ + カ				
使用済自動車等年間引取台数					
使用済自動車等年間処理台数					

(参考)

	前年度末	現在
負債総額 (年度末残高) (千円)		

(注) 1 「1台あたり」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ってください。

2 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合は、マイナスで計上してください。